







A group of seven people, four men and three women, are posing for a group photo in front of a large stone monument. The monument is rectangular and features a carved flower at the top and the vertical Japanese characters "平安神宮" (Hiraoka Shrine) below. The group is dressed in casual outdoor attire, including jackets, hats, and scarves. The background consists of several large, mature pine trees under a clear sky. A white car is partially visible on the left side of the frame. The ground is paved with cobblestones, and there are small white posts connected by a chain in the foreground.

平安神宮



















園指定名勝 平安神宮神苑 案内図



寄贈



京都因崎ライオンズクラブ

20周年記念

平成7年11月

























右近の橋 たらしはる

平安時代以降、深良殿の南階下の西方に
植えられた橘のことを「右近の橋」とい
「左近の橋」と併称される。

鎌倉のとき、右近衛府の官人がその側に
列したことから、名付けられた。

橘は、空州の仲間で唯一の野生種であり
その実は、古くから「常世国」の不老長寿
の妙薬として珍重された。

昔のひとの 花橘の香をかけば
昔のひとの 袖の香ぞする

古今集



左近の桜

平安時代より、紫宸殿の南階下の東方に桜が植えられ、儀式のときには左近衛府の官人らが、その側に列したことから「左近の桜」と名付けられた。

桜は、清らかさを大事にする日本人の心を表すものとして「日本の国花」にもなっている。

数々の大和心を人とはば

朝日にたはふ山ざくらばな

本居宣長



右近の橘

たぢはな

平安時代以降、奈良殿（しんげん）の南階下の西方に
植えられた橘のことを「右近の橘」といい
「左近の橘」と併称される。

嵐武のとき、右近衛府の官人がその側に
別したことから、名付けられた。

橘は、空花（からな）の沖間で唯一の野生種であり
その実曰く、古くから「常世国（とこよのくに）」の不老長寿
の妙薬（たぎやく）として珍重された。

きつさ待つ 花絡の香をかけば
昔のひとの 油の香ぞする

古今集





大極殿

大極殿は、古代の役所の建造物のなかで最も重要な建物で、天皇が政務を執られた朝賀・即位などの重要な儀式が行われた。明治二十八年、平安遷都千百年記念事業の一環として、平安時代の様式を模して大極殿が建造された。

規模は往時の約二分の一で、屋根は一重入母屋造で、碧瓦を用いた本造である。平安神宮の大極殿は、平安時代の榮華を想ふことのできる唯一の文化遺産である。

大極殿
平安神宮
〒604-8601 京都市東山区
平安神宮
〒604-8601 京都市東山区
大極殿
〒604-8601 京都市東山区







京都美術館













